

第164号 / 静岡県



消防学校 ニュース



令和7年9月号

県民の日の行事

初任科学生のおもてなし お越しいただき ありがとうございます

消防学校では、「県民の日」制定以来、県民の日にちなんだイベントとして、主に小学生を対象にした「消防学校訓練体験」を開催しています。総務課職員が、近隣にチラシを配るなど広報に力を入れた結果、厳しい暑さの中、116人の方々に来校いただきました。

本校で教育訓練を受けている初任科第96期生たちは、受付、案内・誘導、各訓練の企画・実施、そして訓練展示と大活躍でした。来校者の方々の安全と楽しい時間の提供など、来校からお帰りまで、消防学校の“おもてなし”を実践してくれました。

参加者の方々からは、訓練体験への御意見、御感想のほか、初任科第96期生たちへの応援メッセージも多数いただきました。ありがとうございました。

夏休みは・・・

消防士の訓練を 体験しよう！



県民の日イベント開催！



令和7年8月21日(木)

午後1時15分から午後4時55分頃まで

「静岡県消防学校」にて

(静岡市清水区谷津町1丁目577-1)



■対象者 中学生以下 先着100名(事前予約制)
※小学生以下は必ず保護者同伴して下さい。

■申込期限 7月25日(金) ※定員に達し次第締切

■申込先及び申込み方法

QRコードを読み取り、申し込みを行ってください。不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

(担当) 静岡県消防学校総務課 (電話番号) 054-369-1190

【参加者の感想】

・消防学校での体験ということで、全てにおいて本格的な体験が出来ました。学生の皆さんも子供達に優しく、保護者に礼儀正しく素晴らしい人達でした。普段のイベントではここまでの体験は出来ないので、沢山の思い出が出来ました。

・子供達を楽しませるように頑張ってくれた学生に感謝。実際の訓練指導に活かすことができる良い取組だと思います。残り1か月教官も学生も大変ですが、頑張ってください。

・学生のみなさんが終始盛り上げてくださり、恥ずかしがり屋の子供も頑張って取り組むことが出来ました。また、消防士のみなさんのすごさを目の当たりにし、感謝の気持ちが一層深まりました。ありがとうございました。

・大好きな消防のお仕事の体験をすることが出来て良かったです。とても良い経験をさせて頂きありがとうございました。

・2歳児でも親切に教えていただき、とても楽しめました。



救 助 訓 練 展 示



救 急 体 験



放 水 訓 練 体 験



消 防 車 試 乗 体 験



濃煙通過訓練



ロープ渡過訓練



花火教室

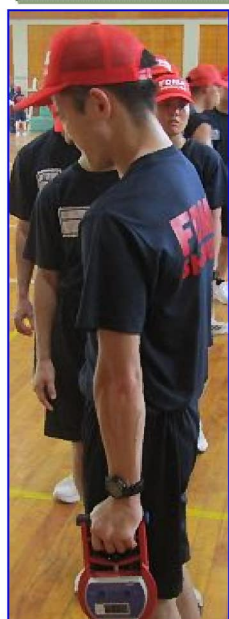


受付

記念品配布

第2回初任科体力測定

～体力気力の練成～



握 力



懸 垂



立位体前屈



立三段跳び



反復横跳び



上体起こし



100m 走



274.3m 走



1,500m 走



4km 走

第1回体力測定を実施したのが、入校後間もない4月。

積み重ねた訓練の成果、自己鍛錬の結果を確認する第2回体力測定を8月19日（火）と8月20日（水）の2日間で実施しました。

学生達は真夏日にも負けず、精一杯競技に臨み、多くの学生が記録を更新していました。

初任科防災施設等視察研修

～放射線について学べ～



浜岡原子力発電所



御前崎市消防本部

8月28日（木）に、放射線災害についての理解を深め、消防職員としての知識向上を図るため、県内唯一の原子力発電所である浜岡原子力発電所と管轄消防本部である御前崎市消防本部へ視察研修に行きました。

浜岡原子力発電所では原子力発電の仕組みや安全対策について、御前崎市消防本部では放射線の種類や人体への影響、放射線災害への対応を学び、学校ではできない貴重な体験ができました。御協力いただいた浜岡原子力発電所、御前崎市消防本部の方々に感謝申し上げます。

白鳥校長の一言（時事雑感）

羽ばたく初任科生に向けて

～本校移転 40 年を通じて～

令和 7 年（2025 年）は、「昭和 100 年」、「終戦 80 年」、「阪神・淡路大震災 30 年」など歴史的な節目となっているが、本校も然り。現在地（清水区谷津）に移転したのが昭和 60 年（1985 年）10 月で、**丸 40 年**を迎えた。

こうした時機たまたま、初任科生だった当時を懐かしく思い出される消防長（複数）のお話を聞かせていただいた。現消防長の多くが初任科生として入校されたのは、**およそ 40 年前**。本校が移転するその前後の時期にあたる。

お聞きした話を要約すると、…初任科生の時には、当時の教官から（今では考えられない）理不尽な仕打ちを受けた。しかしその厳しさの中で同期と励まし合い、困難を乗り越えた経験がお互いに支え合う財産になり、その後の自身の成長に繋がった…という。穏やかな笑みをもって昔を振り返っておられる表情からも、決して「黒歴史」ではないようだ。

4 月に入校した初任科生は、去る 26 日に修了式を終え、各消防本部（局）に羽ばたいていった。厳しい教育訓練を乗り越えた学生は、入校時と比べて逞しく成長してくれた。この半年間の豊かな経験が糧になり、色鮮やかな思い出に変わってくれると信じていたい。

そして、学生が退職期を迎える**約 40 年後まで**にどんな未来が待ち受けているだろうか。現代は「VUCA」の時代とも言われる。**V**olatility（変動制）、**U**ncertainty（不確実性）、**C**omplexity（複雑性）、**A**mbiguity（曖昧性）の頭文字をとった状態で、将来の予測が困難な時代とされる。だからこそ修了した学生には、今の不透明な社会に積極的に挑戦し、様々な課題に敢然と立ち向かう消防人になってほしいと期待する。それは、今期のスローガン「精神一到」に込めた教官の願いにも通じると思う。消防士としての誇りを胸に、強さと優しさを兼ね備え、地域の皆様から信頼され、愛される立派な消防士に成長してくれることを心から願っている。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎: 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

